



知財法務室長 満木 様

講話内容（知的財産にかかる内容を中心に実施）

- ・ 特許について（業務、法令、競争事例など）
- ・ 電気計測について

学生のワークシートから抜粋

【わかったこと等】

- ・ 特許は 20 年間。
- ・ 発明（特許）は課題の解決。
- ・ 模倣品は価格競争を招く、模倣品は品質の低下を招く、模倣品は技術の低下を招く。
- ・ お金をかけて開発したものを特許で守って、まねをさせないことが大切だと分かった。
- ・ 課題とは理想と現実のギャップ。一つの課題をクリアすると、それをよりよくするための課題が出てくる。
- ・ 企業は開発者を雇用し、研究開発費を負担して発明しやすい環境を整備している。
- ・ 特許を出さなくてもまねをされても、何も手出しができないことがわかった。
- ・ 特許はその国だけで守られるものだから、注意しないとイケない。
- ・ 特許は社会の発展につながる。
- ・ 特許はビジネスを独占するためにある。
- ・ 特許性とは、新規性と進歩性が認められ産業上利用できるもの。
- ・ 上位概念で表現された請求項は強力。
- ・ 仕事とは自己実現。
- ・ 産業革命によって蒸気機関ができた。エネルギー変換効率はガソリンエンジン 30%、ディーゼルエンジン 40%、電気モーター 90%となっている。

【気づいたこと、感想等】

- ・ 特許によって国が法律で保護してくれて、特許権は強いと思った。

- ・特許権をとらないと、まねされても何もできないとても厳しい世界だと思った。日本だけに限らず、海外にも申請しないといけないのはとても大変だと思った。
- ・特許は模倣品が作られることを防止し、安売り競争にしないために、国の法律によって守られていることを学べたのでよかった。
- ・価値があって需要のあるものなら、高価格でも買ってくれる企業がいると思った。高価格を維持するためにも、特許は必要だと思った。
- ・独占と聞くとあまり良いイメージがなかったけれど、企業が大きくなるために重要なことだし、自分たちのアイデアを守るためにも必要だと思いました。
- ・今まで法律についてあまり関心を持ってこなかったが、今回の話を聞いて、法律によって経済が支えられていて法律は大切だと改めて思った。
- ・昔どうやって経済を発展させていったのか、細かく教えてくれたおかげでよく理解できた。
- ・エンジン自体が複雑で、モーターがシンプル、というところの説明が、とても面白かった。
- ・だんだんとガソリンなどが電気に変わっていき、電気の需要が上がっていくため、電気をたくさん作ることが大切だと思った。
- ・アナログな物をデジタルに変えるという思考を元に様々な物や事を見ることで、いろんな物を効率化させると便利な社会をつくる元になると思った。
- ・自分も仕事をするときには、仕事は自己実現であり、主体は自分であるということを意識していきたいと思いました。
- ・私生活における課題を見つけていき、いろいろな手段で解決したいと思った。